

令和6年度5月教育委員会 会議録

開催日時		令和6年5月31日（金） 15:00～17:20
開催場所		早島町町民総合会館 2階 集会室
出席者	委員	白神敬祐教育長、栗坂祐子委員、市橋晃委員、岡本善弘委員、加藤和子委員
	事務局	吉見一成学校教育課長、芝原孝典生涯学習課長、貝原丈雄課長補佐、赤堀恵一主幹、藤井夏樹主任
会議次第		1 開会 教育長あいさつ 2 協議 (1) 早島町町民総合会館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について (2) 早島町スポーツ施設等指定管理者の指定について (3) 早島町における部活動地域移行について (4) 令和6年度6月補正予算について (5) その他 ・令和6年度市町村教育委員会 研究協議会の開催について 3 連絡 4 閉会
会議資料		
傍聴者		なし
会議録作成者		貝原丈雄

会議内容

1 開会 教育長あいさつ 白神教育長：皆様こんにちは。お忙しいところお集まり頂きましてありがとうございます。 5月は季節の変わり目で、大雨警報が出た日は、幼・小・中と休園休校となりましたし、体調管理が難しい日々であったかと思います。 議会の関係ですが、今回の定例会では、昨年の12月の定例会で、ファジアーノからの負担付寄附の受納を議決頂いておりまして、それを受けて、ファジアーノを早島町の社会体育施設の指定管理者に指定する指定議案を、この定例会で上程する予定で、今最後の調整をしまして、議決頂けるようにと思っています。議決されると、協定書等の締結を経て、宮山グラウンドの整備がなさ
--

れ、今利用して頂いている方々への説明会を開催し、9月の定例会で条例改正をして、来年4月の指定管理開始となる運びです。

学校行事としては、小学校のスポーツフェスティバルが、24日（金）に平日開催されました。子ども達が走る姿や、演技する姿に元気をもらいました。今年は平日開催の利を生かして、1・2年生の部に、幼稚園の年長組さんが、観覧・応援に来ました。

今月は、町村教育長会等が次々と開催されました。

○岡山県町村教育長会総会・研修会（5月9日）

中村教育長との懇談会での資料を一部紹介

○全国町村教育長会定期総会・研究大会（5月14日～15日）

全国925町村教育委員会のうち、563の教育長が参加されました。岡山県は12町村全員参加していました。

脳科学者の茂木健一郎さんが、記念講演で「人工知能時代に子どもたちが身につけるべき人間力、脳力」は何かということで、「自立して、自ら判断し、選択していく力」はAIではできない。そのためにスポーツとメタ認知が有効。世界に誇る日本の学校教育の自慢は給食。というようなお話しをされていました。

○岡山教育事務所管内 町村教育長連絡会議（5月17日）

人事のことで言われたことをメモで紹介

岡山県GIGAスクール構想推進協議会では、GIGAスクール構想で、最初に入れた端末が更新時期になっているということで、国から、各都道府県で推進協議会を設置してやりなさいと言われていています。早島は、端末を早く導入しているので、早く更新が来ます。2／3国庫で、1／3は負担しないといけないので、予算は取っています。利活用などの計画を、ちゃんと作って公表してくださいということになっています。

何かご意見ご感想、気になったことがあれば言ってください。

市橋委員：資料にある、端末270台を4年間、最後の1年が163台。小中学校どこがどうなっているの。270台だと学年によって違うのか、古いのは誰が使っているんだろうか。

貝原課長補佐：この年がこの学年でという整備の方法ではなく、小中学校全体の必要台数を、5年にわけて調達する形です。予備機を30台、270台プラス30台で300台を調達する。必要台数だけ5年に分けて調達する計画にしています。

市橋委員：最初は一気に導入したんですか。

貝原課長補佐：そうです。もうバッテリーがかなり弱ってきているので、令和10年には、既に壊れている台数の方が多くて、予備機を当てている状態になっている可能性が高いと思われます。

市橋委員：調子が悪い壊れたのから変えていくんですか。

貝原課長補佐：出来れば1学年ごとに変えていきたいと思っています。

白神教育長：大まかな検討でいくと、2学年ずつ、5年で10学年。持ち帰りもあるし、使い方にもよるかもしれないけど、耐久年数とかも考慮しています。

2 議事・報告案件

(1) 早島町町民総合会館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について

【資料説明：早島町町民総合会館貸館施設の追加について】

白神教育長：何かご質問とかありますか。

加藤委員：とてもいいことだと思います。これほどいい施設を遊ばすのはもったいないです。

白神教育長：それでは今提案した通り、お認め頂くということでよろしいでしょうか。議決されたということで、この後、議会に上程するということになります。

(2) 育児・介護のための時差出勤の試行に関する要綱の一部を改正する要綱について

【資料説明】

白神教育長：小中学校の県費負担の先生方に、服務監督である町教育委員会が、その規則を改正して認める。県教委も県立学校の教職員を認めているので、市町村教委もお願いしますと文書が来たので、それに合わせてします。町費の方はこれはありません。15分遅く来てもいいのが加わったということです。

栗坂委員：高齢者を抱えている方も、朝介護のデイケアの見送りなど、時間を遅らせて出勤出来れば、少しゆったりとできて、育児もそうですが、働きやすくなると思います。

市橋委員：県費の先生はどのくらいいるんですか。

白神教育長：ほぼほぼ県費でしょう。

藤井主任：正規の教員は基本的に県費で、支援員の先生などが町費です。

市橋委員：町費の方はどうなるんですか。

白神教育長：町費の方はこれは適用されません。

藤井主任：町費の人は、早島町の時差出勤のルールがあります。

白神教育長：お認め頂くと言うことでよろしいでしょうか。承認頂いたということで、ありがとうございます。

(3) 早島町スポーツ施設等指定管理者の指定について

【資料説明】

白神教育長：何か、ご質問やご意見などございませんか。

加藤委員：使用料が大分いるようになりますかね。

芝原課長：まだ使用料は決まっていますが、全般的に早島町は他と比べても金額が安いので、ある程度の受益者負担は頂くようになります。減免の規定も新たに見直しますが、減免できる団体もあります。

白神教育長：今減免になっている団体には、町が補填するようになっているのでは。ファジアーノがいくらか設定するようになると思うけど、今減免になっている団体については、町が補填するので、利用されている方が、すごく負担増になることはないんじゃないかな。

吉見課長：今年度まで行われている減免というのは、スポーツ少年団とか社会教育団体とかが使われる時には、低廉な金額で使ってもらっています。使用に係る料金も、町に帰属するお金ですから、収入減を町が容認している。一般的には体育施設、グラウンドの使用料金は、頂いた後、その施設の管理にまわるお金ですが、町では減免分を他の一般財源、つまり税金で補うことで、使用料の減額を受け止めています。指定管理者制度に移行しますと、減免した額を指定管理者に対して町が補填していかななくてはならない。減免補填の対象を、どの範囲に設定するのか、減免団体はどこどこですかと議論しつつ範囲を決めていく作業が、これからになります。議会の意向もあるだろうし、町の財政事情もあるだろうし、これまでほぼ負担感なくご利用いただいていた方のお気持ちもあるだろうし、その辺りの合意形成が、これからの課題になってくると思います。

岡本委員：宮山グラウンドはすごく充実していくんだろうなとわかるんですが、それ以外の所も、ファジアーノさんがどのように対応してくれるんだろうかと、心配だなと感じるのと、使用している人の意見の反映、町としての意向の反映、その部分がしっかり協定書の中に入っていればいいかなと。サッカー中心にシフトしていくのかなとか、他のグラウンドやテニスコートにも目を配って頂ける様な方向で、話しがまとまってくれるといいなと思います。

吉見課長：包括協定書がございまして、その中で、ユーザーの意見や町の意向を踏みつつ、協議しながら施設管理をしていくことが、そこに盛り込まれています。ファジアーノは、岡山市や総社市の体育施設の指定管理者としての実績もありますので、我々が今まで直営でやっていたものよりは、内容を充実させて効果も出していききたいし、スピード感も期待しています。

白神教育長：補修などは、基本ファジアーノがするけど、一定の金額を超えたら町がするか、芝生の張替えは、10年ごとに結構な金額が掛かるので町がするのかな。一気に払うと大変だから、毎年積み立てて張替えなければいけないことになると思います。地域移行を含めて、両者がウインウインになれる形を、今後模索していく方向で、また報告していきたいと思います。

(4) 早島町における部活動地域移行について

【資料説明】

白神教育長：早島町では平日から地域移行を進めていきます。大会に出るハードルは、今までは学校の部活動で出れましたが、地域のクラブで出れるかどうか。子どもを部活動と地域クラブの二重登録出来ないの、子どもは選ばないといけません。

地域のスポーツクラブは、受益者負担で、夜とかすることになった時に、少しお金は掛かる。ファジアーノとの連携で言えば、サッカーの指導者が地域クラブで週に1度とか来てくれて、指導してくれるような場面も今後あって、そうなった時に、他の地域の子どももクラブに参加することが想定されます。出来るだけ、保護者や学校の先生方と齟齬が起きないように移行したい。

岡本委員：11部活動があって、男女バレーボールや男女バスケットボールにも、それぞれ人が付いたのですか。どのような方が入られたのですか。

赤堀主幹：退職校長、退職教員、スポーツ少年団の指導者、自営業者、部活動が終わって施設開校で中学校の体育館を使って活動されていた方などです。部活動指導員の方は、この平日のみという話しからは知らないです。

白神教育長：平日出来ますかのようなアンケート取ってるんじゃないの。

赤堀主幹：2月の会議の資料を基に、部活動指導員さんだけに、4月の2日と3日に集めて、そこまでは説明させてもらいました。

部活動指導員さんを中心として地域移行したい旨を伝え、もし平日に地域移行を一緒に目指していくなら、平日はどのくらい来られますかというアンケートを皆さんに取りました。11のうち10の部活が、週3～週4で平日行けます。1つの部活は週1日しか無理だと言われました。それがサッカー部だったので、そこはファジアーノさんと協力して上手に埋まる形で進めていけたらなと思っています。

市橋委員：11は全部残って、今の体制を目指せそうなんですか。

赤堀主幹：はい。一気に進めたかったのは、教員の中で不公平が生じるといけないし、今回、全ての部活動指導員さんが入ったので、これを機に一気に平日取ってしまえば、先生方の負担減にもなりますし、クラブチームになれば、先生方でやりたい人は、勤務時間を終えた後に参加できる。ゆくゆくは、平日の兼職兼業を掛けて、そこに対して報酬を支払う仕組みが出来ればいいなと思っています。土日は、部活動指導員さんが指導してくれるので、部活動に関わりたくない人は、平日も休日も全く関わらなくてもいい状況になります。やりたい人は出来るし、やりたくない人は関わらなくていいけど、大会への参加に関しては手伝ってねとはお願いさせてもらおうと思っています。

市橋委員：美術部と吹奏楽部もいけたんですね。

赤堀主幹：そうですね。吹奏楽部は違う形も検討に入っています。中学校の先生と、今の指導員さんと、早島町で、早島町の吹奏楽部として、どのような形でいけばいいのか協議することも考えています。現時点では、クラブチームに入って活動してもらう形で進んでいます。

市橋委員：そうだと素晴らしい。

加藤委員：文化とスポーツと両方でできて多様性だと思うし、色々な事を経験できることまで

考えていて感心します。凄いなと思います。

赤堀主幹：小学校6年生後半ぐらいから参加できることも検討していて、そうすると中学生になる前に、色々なクラブチームを回っていきながら、中学生になってどこで頑張るか決めていくこともありなのかなと。早島町の子ども達が、運動や文化体験に触れる活動の場の提供をすることができればと考えています。

吉見課長：このような取り組みをしている自治体が、全国的にもないようなので、もしかしたら、先進事例でモデルケースになる夢もあります。

受益者負担に関しても、保護者への説明はまだこれからですが、負担して頂く会費に対して、こういうことを準備してお迎えすることをお伝えできればと思っています。

市橋委員：時間帯は何時から何時くらいですか。

赤堀主幹：指導員さんによって違いますが、現時点では、週3回の2時間の活動を考えています。

栗坂委員：受益者負担の金額ですが、家庭によって色々な事情があるので、経済的なゆとりがなくて出来ない子ども達がいないように、そういったことも考えて下さっていますか。

吉見課長：我々の案としては、財政当局と協議や町長判断が必要ですが、就学支援の対象に加えてもらうのがわかりやすいかなと思っています。

社会教育の町早島としての再構築というか、再び名乗りをあげる。我々としても気合が入るようなわくわく感を感じています。

白神教育長：働き方改革にもすごく貢献すると思います。

(5) 令和6年度6月補正予算について

【資料説明】

(6) その他

・令和6年度市町村教育委員会 研究協議会の開催について

【資料説明】

白神教育長：議事報告案件については終わりましたが、何かありましたら、ご意見ご感想等ございましたら、いかがでしょうか。

岡本委員：小学校の運動会については、保護者の方から何か意見が出ていますか？

白神教育長：何か聞かれていますか。

岡本委員：土日がとか言われている方がいるなと感じていたの、学校としては把握して色々と考えられているのかなと。

白神教育長：昨年から平日開催になり、平日にする理由も、前年度ちょっとお話をしましたが、特に私の所には、なぜ平日開催なのですかというのは、今年度は聞いていません。

市橋委員：保護者としての希望は、土日に全校でやって欲しいかな。色々な学校の話聞く

と、コロナ前に戻っている学校もあれば、茶屋町は早島と同じような状況だと聞きますし、バラバラなんだなとわかります。

白神教育長：学校の規模もありますが、今のやり方だと近くで見える。かつては、場所取りが大変だったとも聞きます。

市橋委員：正直な感想は、コロナ前は出来ていたのに、コロナになったら、いきなり出来ない理由が並べられて、出来ない風に言われるのが、納得していない部分があります。倉敷でも、戻った学校と戻っていない学校があるので、市町村ごとではなく、小学校ごとで決めているんだと。なぜ平日にシフトして、それがずっと続くのか、腑には落ちていません。

岡本委員：地域と連携しなさいとしきりに言われていた。昔を懐かしむ気持ちがあれば、運動会や学芸会など、昔からあるものは、地域を上げてという雰囲気を少しは残して欲しいかなとの思いはあります。

市橋委員：幼稚園はどうなんですか。

白神教育長：年少・年中・年長と、分けてしています。園庭もそんなに広くはないのでね。土曜日の午前中には終わっていたと思います。

加藤委員：幼稚園サポートボランティア活動に参加して欲しいというプリントが来たのを見せてもらいました。内容を見ると、花壇を整備するとか、絵本の部屋を直すとか、プールの掃除をして欲しいとか、先生の仕事を手伝わないといけない。開かれた幼稚園と言うけど、開かれすぎて逆にしんどいのかなと思います。

白神教育長：幼稚園・小学校・中学校共にPTAが任意加入になり、行事ごとにボランティアを募ってやってもらう。今年度は、新しい保育園も1つ出来ましたので、幼稚園の新入園児が少な目になっています。そういった中で、幼稚園の先生と、PTAや保護者の方や、地域の方の力も借りてやらなくてはいけなくなっています。

3 連絡

吉見課長：6月の教育委員会は、6月25日（火）13時30分から、場所は早島中学校で、現地集合（南玄関）でお願いできればと思います。授業を見てからの会議になります。よろしくお願い致します。

4 閉会